

# 水道料金の値上げは 市民の理解を得られない

## 阿奈田ダムの規模は 適正だったのか？ 市は説明を

平戸市の水道料金は今年でも県内で一番高い料金です。12月議会で水道局長は2014年4月から8%台の値上げをしたと、と答弁しました。市民の理解は得られません。

自治体が繰り入れを行い、値上げを抑えています。県内では佐世保市が毎年2億円の繰り入れです。

水道会計は昨年度6200万円の黒字でしたが、今年度から5000万円の赤字が見込まれます。

阿奈田ダム(水道専用)建設などを行った中南部上水道事業は50億円かかりました。この事業費の償還(年8000万円)が始まるのが大きな原因です。

阿奈田ダムの給水人口は9500人で計画されましたが、給水開始の2011年4月の給水人口は8300人でした。開始の時点で計画を1200人も下回りました。

山崎議員の質問に、水道局長は人口が減っている、と答弁しました。減少は予想されたことで、今後も大きく減少します。

多くの人から「建設はいいが、なぜ、必要もない大きなダムを作ったのか」「建設費や維持管理費で水道料金が上がる、納得できない」という声が出ています。

市は値上げを撤回し、理解を得られるよう説明すべきです。

税金の使い方を変え、水道会計に一般会計からの繰り入れを行うべきです。全国では少なくない

民説明会が行われました。山崎議員は繰り返した。

「建設をどんどん進める前に賛否も含めて、市民の意見を聞くべきだ。そのための住民説明会を行うべきだ」と求めてきました。

か。市の説明会は、市民に広く知らせないまま、行われました。

しかし、市の説明会は建設前提で、進捗状況を説明する、というものでした。

情報センターの地元になる北部の説明会でも、市民の参加者は市職員、情報センター計画策定委員だった人、北部公民館利用団体の人などで22人でした。

五島市では住民説明会で多くの意見が出されて、図書館建設が白紙に戻りました。こうした事態を恐れたのでしよう

「市民を置き去りにして進めるから関心が低い」「このままでは失敗する」との声がひろがっています。



阿奈田ダム

## 情報センター建設

(北部公民館と図書館)

### ご存知でしたか、 住民説明会の開催

昨年11月、市内6ヶ所で情報センター建設の住

情報センター説明会の参加者数

場所	参加者	
	事務局(市職員)	市民
多目的研修センター	6人	12人
ふれあいセンター	8人	11人
田平町民センター	7人	17人
生月町中央公民館	7人	9人
北部公民館	11人	22人
大島村離島開発総合センター	5人	13人

さまざまな行事に参加させていただきました。ありがとうございました。



北部地区の健康まつり：山崎議員もパン食い競争、飴食い競争など3種目に出場



平戸中学校の文化祭



田平町身体障害者福祉協会のスポーツ教室